

今週のビルマのニュース 2008年5月30日【0814号】

**「イラワジ・デルタの住民は、国際社会から寄付されたチョコレートなどもらわなくても、自分たちで生きていける。…野に生える新鮮な野菜を食べ、川を泳ぐ魚からたんぱく質を摂れる」
— 国営紙「チェーモン」社説（援助を受け入れるように求める各国や援助機関などを非難）**

今週の主なニュース：援助受け入れ進まず

・軍政トップ・タンシュエ将軍は先週、サイクロン被災者救援のために外国からの援助要員を全面的に受け入れると表明。一週間後の現在も受け入れは特に進んでおらず、多くの機関が入国やイラワジ・デルタへの立ち入りの許可を待つ状態が続いている。

・援助物資を積んで17日からビルマ沖で待機していた仏海軍の船も、陸揚げ許可が出なかったためにタイ・プーケットに向かい、そこで物資を降ろした。米国の艦船4隻もビルマ沖で入港許可を待つ。

その他：新憲法「承認」、スーチー氏拘束延長

・軍政は27日、民主化指導者アウンサンスーチー氏の自宅軟禁措置を半年間延長すると発表した。

・軍政は29日、国民投票の結果、新憲法案への賛成が92.48%（投票率98.12%）で、憲法案は承認、制定されたと発表した。主要な問題点は以下：

- ・大統領には「軍事的見識」が必要とされ、文民の就任は困難。
- ・国会議員の25%は軍が指名する。
- ・大統領や議員は「外国から影響を受けていない」ことが条件で、アウンサンスーチー氏を排除。
- ・国家の存亡がかかる緊急時に軍総司令官が全権を掌握する。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

サイクロン被災について日本政府は数回にわたり合計約13億2,000万円の支援を表明した（詳しくはバックナンバーを参照）。またヤンゴン港の沈没船引き揚げ調査のため日本から専門家を派遣した。さらに25日から国際緊急援助隊医療チームを派遣。25日の支援国会合には宇野外務大臣政務官が出席した。

イベントなど

☆ハリウッド・スターとビルマの30日
ハリウッドの人気俳優が日替わりでビルマを語る！
www.burmainfo.org/solidarity/30daysforburma.html

・在日ビルマ人共同行動実行委員会～ディペーイン虐殺事件から5年・アウンサンスーチー自宅軟禁延長に抗議する（ビルマ大使館前、30日15～17時）

・サイクロン被災者支援街頭募金活動、在日ビルマ人共同行動実行委員会（31日14時～JR上野駅マルイデパート付近、6月1日14時～JR秋葉原駅）

・カレン民族同盟（KNU）議長追悼集会、KNU日本支部（豊島区民センター5F、6月1日18時～）

・サイクロン「ナルギス」から1ヶ月一犠牲者・被災者への追悼行動、在日ビルマ人共同行動実行委員会（国連大学前、6月2日15時～17時）

・連続セミナー第2回「国籍・在留資格のない子ども」在日ビルマ人女性M氏、渡辺彰悟弁護士（在日ビルマ人難民弁護団事務局長）（早稲田奉仕園内日本キリスト教会館、6月14日14時～）

・アイヌ、ジュマ、ビルマの先住民族・マイノリティとともに～首都圏のアイヌ、滞日外国人の中の先住民族との出会い2008（明治学院大学白金キャンパス本館1255室、6月15日14時～）

・ミャンマー（ビルマ）難民支援事業現地スタッフ報告会と映画上映「ビルマ、パゴダの影で」シャンティ国際ボランティア会（JICA地球ひろばセミナールーム302、6月20日18時～）

・京都女子大学現代社会学科公開講座「ビルマ軍政下の人々～難民の声を聴く～」（京都女子大学J校舎525、6月21日13時半～16時半）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165